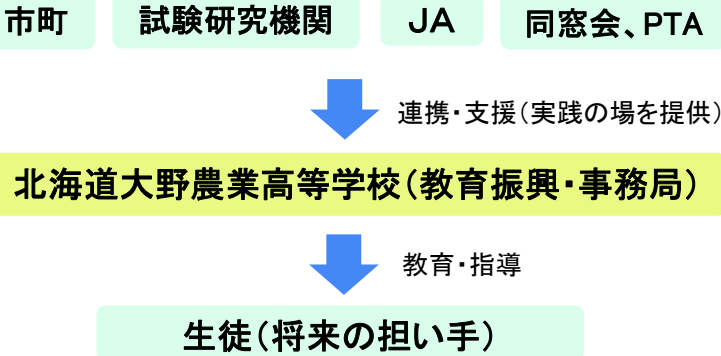


地域連携による農業経営人材育成の取組

道南農業経営者育成対策協議会（北斗市）

【道南農業経営者育成対策協議会の連携図】



◇【取組のきっかけ】

- 道南地域における農業経営者の減少・高齢化・担い手不足の進行、耕作放棄地の増加。
- 生産基盤の減少や地域農業の弱体化が懸念される中、農地保全や地域コミュニティの維持。
- 学校教育のみでは補いきれない、より実践的な現場体験や経営能力の習得。
- 地域関係機関が連携した人材育成体制の構築。

⇒上記、課題等解決に向け、平成2年12月6日
「道南農業経営者育成対策協議会」が設立。

◇【取組の経緯と概要】

- 農業志向の強い生徒を対象に「農業経営者育成研修」を実施。
- 各学年10名程度が登録（主に3年生中心、入学時から募集）

【主な内容】

- 農業改良普及センター、農業試験場への訪問研修
- 先進農家・関連施設の視察研修
- 土壌診断等の実技研修
- 農業講演会、広域視察研修（宿泊研修）、研修報告会

【取組の特徴】

- 行政・JA・試験研究機関・農業者が一体となった育成体制
- 同窓生農業者との連携による実践的な学びの場の確保
- 就農を見据えた現場重視のカリキュラム
- スマート農業の導入を見据えた産官学連携の検討

【組織等の概要】

- 北海道大野農業高等学校は、道南地域における農業人材育成の拠点校。
- 構成員：北斗市・函館市・七飯町・森町・八雲町・厚沢部町、JA新はこだて、JA函館市亀田、同窓会、PTA、北海道大野農業高等学校（事務局）
- 目的：同校の教育振興を通じた農業経営者育成と地域農業の発展。

【取組の成果】

- 農業及び農業関連分野への進路選択者の確保。
- 農業経営予定者の継続的な育成体制の確立。
- 地域農業者・関係機関との接点形成による早期の就農意識醸成。
- 就農後の相談・技術継承につながる人的ネットワークの形成。
- 地域ぐるみで担い手を育成する仕組みの構築。



土壌診断実習
（農業改良普及センター）

広域視察研修
（酪農学園大学）



【今後の展望】

- スマート農業やデジタル技術を取り入れた教育内容の高度化。
- 産官学連携による実践的研修の更なる充実。
- 地域農業者・卒業生との連携強化による支援体制の深化。
- 「育成から定着まで」を一体化した人材育成モデルへの発展。